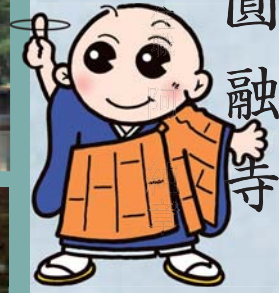


宗内寺院紹介 28

経王山 圓融寺



①釈迦堂 ②山門 ③本堂 ④仁王門 ⑤本尊・阿弥陀如来

仁寿三年（八五三）、慈覚大師の創建と伝えられる天台宗の古刹。当時は法服寺と号したが、弘安六年（一二八三）、日蓮上人の高弟日源上人により日蓮宗に改宗、寺号も妙光山法華寺と改められた。江戸期には三万七千余坪の境内に十八の坊舎を擁し、末寺は七十五ヶ寺を数え、江戸近郊屈指の名刹として知られた。しかし、法華経信者以外の布施を受けず施さずという不施派を堅持したため幕府の弾圧を受け、元禄十一年（一六九八）に再び天台宗に改宗、天保五年（一八三四）に寺号を経王山圓融寺に改めた。

室町期の釈迦堂は都区内最古の木造建築として国の重要文化財に指定。永禄二年（一五五九）作の黒漆塗りの仁王像（都指定有形文化財）は「碑文谷黒仁王」として親しまれている。

経王山 圓融寺

住所／〒152-0003 東京都目黒区碑文谷 1-22-22
電話番号／03-3712-2098